

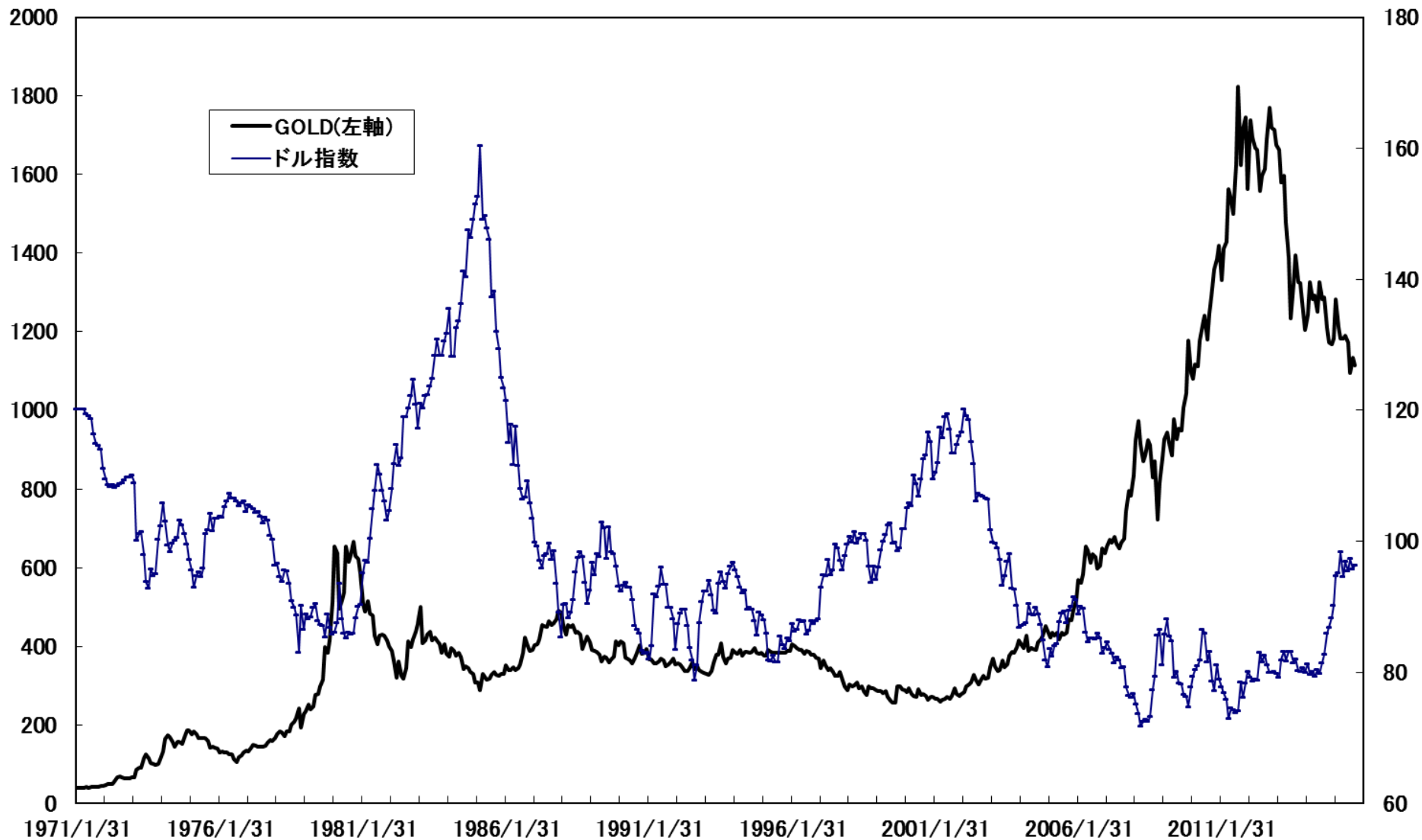
貴金属のファンダメンタルズの変化を 身近なところで気づく方法

為替レートの動きが金価格の
動きを考えるヒントに

2015年10月27日
郷右近 要
岡藤商事株式会社 主席ストラテジスト

この資料は投資判断の参考になる情報提供を目的とするもので、投資勧誘を目的としたものではありません。内容についても、信頼すべきと判断した情報に基づいておりますが、その正確性を保証するものではありません。投資の最終判断は投資家ご自身でなさいますようお願い致します。

金価格とドル(ドル指数)



為替レートの動きが、金価格を考えるヒントに1

円建て金価格(東京ゴールドスポット100)



ドル建て金価格を左右する
米ドルの上昇と下落



ドル高でドル建て金価格が下落・ドル安でドル建て金価格が上昇
円高で円建て金価格が下落・円安で円建て金価格が上昇



ドル高と円高が重なるなら、下落傾向となりやすい
そして、ドル安と円安なら、上昇傾向となりやすい

為替レートの動きが、金価格を考えるヒントに2

－ ドル円とユーロ円・高金利通貨

- ★ ○月○日朝7時 円建て金価格が、強含みとなりやすいケース

ドル円レート 120円50銭 と 前日から円高ドル安

ユーロ円レート 135円50銭 と 前日から「ユーロ高(ドル安)円安」



米ドル下落と円の全般的下落(高金利通貨の上昇)・・・ユーロが円よりも強い
(金利の低い通貨を売り、高い通貨を買ってリスクをとる動き)

- ★ ○月○日朝7時 円建て金価格が、弱含みとなりやすいケース

ドル円レート 120円70銭 と 前日から円安ドル高

ユーロ円レート 135円00銭 と 前日から「ユーロ安(ドル高)円高」



米ドル上昇と円の全般的上昇(高金利通貨の下落)・・・ユーロが円よりも弱い

(金利の高い通貨を売って、金利の低い通貨に戻す、リスク回避の動き)

為替レートの動きが、金価格を考えるヒントに3-ユーロクロス

- ★ ○月○日朝7時 ドル安でも、ドル建て金価格が上がりにくいケース

通貨の強弱バランスが

カナダドル、オセアニア通貨、英ポンドが、ユーロよりも強い



米ドル指数はドル安となっても、ユーロドルが上がらないと
金価格の反応は鈍く、あまり上がらないこともありうる。

- ★ ○月○日朝7時 ドル高でも、ドル建て金価格が下がりにくいケース

通貨の強弱バランスが

ユーロの方が、カナダドル、オセアニア通貨、英ポンドよりも強い



米ドル指数はドル高となっても、ユーロドルが下がらないと
金価格の反応は鈍く、さほど下がらないこともありうる。

為替レートの動きが、金価格を考えるヒントに4ーこの頃の動き

★ 10月16日 東京の朝6時(NYクローズ)

10月15日NY引け、主要通貨強弱バランス／最弱はユーロ

対ドルで最強順にカナダ、オージー、ポンド、円、ユーロ。

ドルインデックスは94.437(0.54%のドル高)。

★ 10月15日 東京の朝6時(NYクローズ)

10月14日NY引け、主要通貨強弱バランス／最強はポンド

対ドルで最強順にポンド、ユーロ、カナダ、オージー、円。

ドルインデックスは93.997(0.81%のドル安)。

為替レートの動きが、金価格を考えるヒントに5－Goldには世界通貨の側面も

円建て金価格(東京ゴールドスポット100)



円建て金価格の動きを考える上で
ユーロのクロスレートの動きが
参考になります

ユーロ円、ユーロポンド
ユーロオージーなど



各国通貨建ての金価格は、個々の通貨の価値を、Goldに置き換えたもの
(基本的な概念として、Goldの価値は同じ)